

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	フラープ		
○保護者評価実施期間	2024年 9月 6日		2024年 10月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2024年 9月 7日		2024年 9月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 11月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	異年齢の活動の中で、こどもの「もっと遊びたい」という思いをフラープでの場所と時間を利用し、実践している。	<ul style="list-style-type: none"> ・遊び道具について、遊び相手と交渉をしながら使用する物を提供している。 ・交渉の方法や意見を受け入れる経験をすることができる。 ・大人の意見や友の意見を受け止める事を経験できるような場面に設定をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・こども同士のやり取りから生まれる気持ちの葛藤や受け入れようとする姿を見守り、お互いの気付きの機会として、大人の介入のもとで情緒の成長の糧につなげる。
2	中学生、高校生の活動を土曜日に行うことで、余暇活動の過ごし方を自身の意志をもって考えながら過ごしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用児童らの興味に基づいて希望の活動に時間を使う。 ・内容は、事業所の室内で過ごすこともあれば、野外に出ていくアクティブな活動もある。 ・外食やアミューズメント施設を事業所で行うことができるように工夫して展開している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も利用児童の自己表現のための時間や場所であるために努めていく。 ・野外でアクティブに活動をすることで自然に触れた心地よさを提供する。(ハイキング・山登り) ・アミューズメント施設への希望があれば、公共交通機関の利用を含めて、計画を立てた活動を提供したい。

3	<p>学校の枠組みから離れて、他校の友人とのコミュニティスペースとしての役割を持っている。</p>	<p>・月の活動内容を、利用児童の意見をもとに考えている。 例：カラオケとお菓子パーティ ゲーム大会（児童のプレゼンゲーム）</p>	<p>・フラープで友を求めて出会う場であるために、友との利用日の約束をしながら、期待をもって来所を勧めていく。 ・利用児童が持つ気持ちの葛藤を分かち合える場を提供したい。</p>
---	---	--	--

	<p>事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること</p>	<p>事業所として考えている課題の要因等</p>	<p>改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等</p>
1	<p>・利用のキャンセル</p>	<p>近隣の地域小学校の低学年の利用希望を多くいただくが、希望日程が重複してしまい、調整が困難な場合がある。</p>	<p>・定員の枠を守りながら、キャンセル待ちにより空き状況を直ぐにお知らせし、利用希望を補っていく。 ・利用児童の学校や額人に合わせて、利用の曜日を提案させていただく。</p>